

主題：ヨベル

メッセージ 9

ヨベルについての天のビジョンにしたがった神聖な委託——
祝福に満ちた神の栄光の福音——神のエコノミーの良き訪れ

聖書：使徒 26:16-19. I テモテ 1:4, 11

I. 主がパウロに現れたのは、パウロが彼を見た事と、彼がパウロに現そうとしている事について、パウロを奉仕者、証し人とするためでした——使徒 26:16. 参照、1:8. 23:11. 20:20, 31 :

A. パウロが見たすべてのビジョンの中で、彼はキリストを見ました。わたしたちがキリストを見た事と、彼がわたしたちに現そうとしている事は、わたしたちが他の人に供給しなければならない事です——ガラテヤ 1:15-16. 使徒 22:14-15。

B. パウロは天のビジョンに背きませんでした。そのビジョンとは、神の奥義としてのキリストのビジョン、キリストのからだ、キリストの奥義としての召会のビジョン、手順を経て究極的に完成された三一の神を内容とし、表現する器としての人のビジョンです—— 26:19. 9:4-5, 15。

C. わたしたちが神のご計画のビジョンを見て、あらゆることからキリストご自身へと回心させられたとき、彼はわたしたちにとって内で活動する神となり、わたしたちを活気づけて彼のご計画を遂行させます——ガラテヤ 1:15-16. ローマ 15:16. I コリント 15:10. ペリピ 2:13. 参照、エレミヤ 1:1, 4-10, 18-19。

D. パウロはキリストの大使、「鎖につながれている大使」、主の囚人、主にある囚人であり、神と同盟関係にあり、この同盟において神の助手であると認識していました——II コリント 5:20. エペソ 3:1. 4:1. 6:20. 使徒 26:22 :

1. キリストの大使として彼を代行するために、わたしたちは自分であること、できることによってではなく、キリストご自身である朽ちない命によって生きなければなりません——II コリント 5:4。

2. キリストの大使として彼を代行するために、わたしたちは彼に喜ばれようと、決意しなければなりません—— 9 節。

3. キリストの大使として彼を代行するために、わたしたちはキリストの愛に押し迫られて、彼に生きなければなりません—— 14-15 節。

4. キリストの大使として彼を代行するために、わたしたちは肉にしたがってではなく、キリストにしたがって霊の中で人々を知らなければなりません—— 16 節。

II. 使徒第 26 章 18 節は、ヨベルについての天のビジョンにしたがった、わたしたちの神聖な委託のすべてを含む内容を明らかにしています。わたしたちはこれらの内容について祈り、それをわたしたちの経験と実際とならせ、人をこの経験と実際にもたらすことができるよう、主に求める必要があります——I テモテ 1:4, 11. エペソ 3:9前半 :

A. 「彼らの目を開き」:

1. わたしたちは主についての新しい知識と新しいビジョンなしに、前進することは

- できません——使徒 26:16. ピリピ 3:8 後半, 10 前半, 13. エペソ 3:9. 参照、申 4:25。
2. わたしたちは知恵と啓示の霊のために絶えず祈り、わたしたちの心の目が照らされて、キリスト、キリストのからだ、神聖なエコノミーのための神聖な分与について、さらに見る必要があります——エペソ 1:17-18 前半. 3:5. 参照、マタイ 6:6。
 3. わたしたちはそのような霊を持って神の召しの望み、聖徒たちの中にある神の嗣業の栄光の豊富、神の復活し、昇天し、服従させ、かしらにつり上げる力の超越した偉大さを見る必要があります——エペソ 1:17-23。
 4. わたしたちはみな、わたしたちの霊に逃げ込むことを訓練しなければなりません。わたしたちが事をはっきりと見ることができる唯一の場所は、わたしたちの霊です——啓 1:10. 4:2. 17:3. 21:9-10. 参照、I コリント 2:11 前半。
 5. わたしたちが霊を訓練して召会の中に生きるとき、神の道はわたしたちに明確になります。わたしたちは霊の中で、また召会の中で、神聖な啓示と、わたしたちのすべての問題に対する解釈を受けます——詩 77:13. 73:17。
- B. 「彼らを暗やみから光へ……立ち返らせる」:
1. わたしたちは進んで、愛する、また愛すべき主に押し迫られ、支配されればされるほど、ますます命の中で成長し、光に満たされます。わたしたちは主イエスに、彼を愛すると告げれば告げるほど、ますます暗やみの権威から解放され、光によって押し迫られ、支配されます——コロサイ 1:13。
 2. 神聖な思想において、金の燭台は、復活の生ける金の木としてのキリストに具体化された三一の神を描写します。それはわたしたちの中で成長し、枝を出し、芽を出し、花を咲かせ、わたしたちから光の実として出て来ます。それは性質において良く、手続きにおいて義であり、表現において実際であり、神がわたしたちの日常の歩みにおいて実際として表現されます——出 25:31-35. エペソ 5:8-9。
 3. 金を打って台を形成することは、信者たちがキリストの苦難にあずかることを表徴します。わたしたちの環境の中で進行するあらゆることは、打たれて輝く燭台を生み出すためです——出 25:31. コロサイ 1:24 :
 - a. わたしたちが思いを定めて神を知り、その霊の内なる働きに、また外なる環境に服従するなら、あらゆる環境は、わたしたちが彼を知る機会となります——ホセア 6:1-3. ピリピ 3:10 前半。
 - b. もし人が生涯において神を知らないなら、自分の全生涯を無駄にすることになります。主が環境における彼の対処を進んで受け入れさせてくださり、わたしたちがさらに彼を知り、獲得しますように——II コリント 4:16-18。
 - c. 事の最も重要な点は、人が困難と試練のただ中で、大いなる光としての主に出会うかどうかです。苦難はわたしたちに、理解できないものを理解するようにすることができます——1:8-9。
 - d. この世で、自分を神にささげるただ一種類の人がいます。それは、愛としての彼を知る人です。この世で、自分の喜びを犠牲にする資格のあるただ一種類の人がいます。それは、恵みとしての彼を知る人です——イザヤ 7:14-15. II コリント 12:7-9. 5:14-15。
 - e. だれでも何かを放棄し、自分を否み、困難な事を選ぶことができるのは、彼の

背後に、最も豊富な恵みと最も甘い愛としてのキリストを享受する、偉大な力があるからです——ヨハネ 1:16. エペソ 3:19。

C. 「彼らを……サタンの権威から神に立ち返らせる」:

1. わたしたちの霊的な経験における最高の点は、明るい空とその上の御座を持つことです——エゼキエル 1:22, 26 :
 - a. 明るい空の上の御座を持つとは、主にわたしたちの存在の中で第一位を与え、わたしたちの生活の中で卓越した地位を与えることです——コロサイ 1:18. 参照、エゼキエル 14:3。
 - b. わたしたちの空が明るくなればなるほど、ますますわたしたちは御座の下に、神の権威の下にいます。神がわたしたちの中で御座を持つとは、彼がわたしたちの中で支配する地位を持つことを意味します——使徒 24:16. 参照、ローマ 5:17。
 - c. わたしたちが明るい空とその上の御座の下にいるなら、真の権威がわたしたちと共にあり、人を神の権威の下にもたらしめます——Ⅱコリント 10:4-5, 8, 13:3, 10。
2. 主イエスを初めの愛をもって愛することは、すべての事で彼に第一の場所、第一位を与えることです。第一の働きは、主に対するわたしたちの初めの愛から出て、それを表現する働きです——啓 2:4-5。
3. 主に対するわたしたちの極みまでの愛は、わたしたちを資格づけ、成就し、装備して、主の権威をもって彼のために語らせます——ヨハネ 21:15-17。

D. 「それは……彼らが罪の赦し……を受けるためである」:

1. 赦しは、わたしたちが犯した罪をわたしたちから去らせ、送り去らせることを意味します——エペソ 1:7. ヨハネ 1:29. イザヤ 53:6. I ペテロ 2:24. レビ 16:7-10, 15-17, 20-22. 参照、詩 103:1-3, 12。
2. 神がわたしたちの罪を赦すことは、彼がわたしたちの罪を忘れるという結果になります——エレミヤ 31:34. ヘブル 8:12. イザヤ 43:25。
3. わたしたちは主に行って、わたしたちのすべての罪の徹底的な赦しを受けなければなりません。ダビデは神に、彼の違犯を拭い去り、彼を徹底的に罪過から洗い去り、罪から清め、ヒソプをもって罪をきよめてくださるようにと懇願しました——I ヨハネ 1:7, 9. 詩 51:1-2, 7, 9 :
 - a. ヒソプとは、へりくだり低くされた人の性質におけるキリストを予表し (列王上 4:33 前半. 出 12:22 前半)、わたしたちの仲保者また犠牲としてのキリストを暗示します (ヘブル 8:6. 9:15. 10:9-10)。
 - b. ダビデのように、わたしたちは神の臨在の中にとどまって、徹底的で純粋な悔い改めと告白を持ち、神からの完全な赦しを受ける必要があります。
 - c. わたしたちは自分の罪を告白して神の赦しを受けるなら、神の救いの喜びを持ち、喜んで従う霊で支えられます。そして違犯を犯す者たちに、彼のもろもろの道を教え、罪人を彼に戻すことができます——詩 51:12-13。

E. 「それは、わたしにある信仰によって、彼らが……聖別された人たちの間での嗣業を受けるためである」:

1. この嗣業とは、三一の神ご自身と彼が彼の贖われた民のために持つすべて、行なったすべて、行なおうとするすべてです。
 2. 三一の神はすべてを含むキリストの中に具体化され、キリストは聖徒たちの嗣業として彼らに割り当てられた分です——コロサイ 2:9. 1:12。
 3. わたしたちは霊なるキリストを、わたしたちの嗣業の担保として（エペソ 1:14）、「人たちの間で」、すなわち、召会生活の中で享受します（参照、Ⅱテモテ 2:22）。
 4. わたしたちは人々を、召会生活の中ですべてを含むキリストの享受へともたす必要があります。それによって彼らは、わたしたちのようにキリストを享受し、また神の聖なる性質をもって、証印を押す霊によって、彼らの霊を活用することを通して、地位的に聖別されます——ヘブル 2:10-11. I コリント 1:9. エペソ 4:30. II コリント 4:13。
- Ⅲ. わたしたちは、主が使徒第 26 章 18 節でパウロに啓示した、完全で、全体的で、徹底的な福音の内容としての彼を経験したいと、真剣に主に祈る必要があります。わたしたちがこのように祈るとき、主イエスはわたしたちに現れ、彼の現れはわたしたちにビジョンを与え、わたしたちは祝福に満ちた神の栄光の福音の実際に生き、神のエコノミーのこの良い知らせを、地の果てにまで広げるでしょう—— 16-19 節. I テモテ 1:11. 使徒 1:8。